

ハンドボール 戦評用紙

| | | | |
|----|------------------|-----------|-----------|
| 大会 | 全国高校総体県予選 | 性別 | 女子 |
| 日時 | 令和 4年 6月 18日 (土) | 準決勝 | |
| 会場 | 浦和駒場体育館 | THROW-OFF | 11 : 30 ~ |
| 審判 | 石橋 正行 | 永田 真也 | |

| チーム名 | total | | total | チーム名 | |
|------|-------|------|-------|------|------|
| 越谷南 | 17 | 12 | — | 12 | 浦和実業 |
| | | 5 | — | 14 | |
| | | — | | | |
| | | — | | | |
| | | 7mTC | | | |
| | | | 26 | | |

戦評

女子準決勝第2試合目は、浦和実業のスローオフから始まった。越谷南8番佐山と9番入學の連続得点で幕を開けた。浦和実業も8番坂本、7番土屋の得点で同点とする。越谷南もすぐ5番浅見の得点でリードするが、浦和実業の7人攻撃で2番岡田が得点し3番大森などの得点でリードを広げ7対4となり、前半12分に越谷南が最初のタイムアウトを取る。その後、浦和実業7番土屋、越谷南5番浅見、2番島村のサイドシュートなどで両チーム得点を重ねていく。前半24分に3点リードの中、浦和実業が最初のタイムアウトを取る。試合再開後、越谷南が3番板垣、5番浅見などの得点で逆転するが、浦和実業9番林田のシュートが決まり、12対12の同点で前半を折り返す。後半、越谷南2番島村のミドルシュートで得点するが、浦和実業7番土屋のサイドシュートが決まり同点とする。後半5分この試合初めての退場者が浦和実業に出る。その後、越谷南4番小暮が得点を決め越谷南がリードし、さらに浦和実業に退場者が出て越谷南7mスローが与えられるが浦和実業1番穴澤がファインセーブ。さらに浦和実業9番林田、2番岡田の連続得点などで逆転し、13番林9番林田が得点を重ねてリードを広げる。その後、両チーム得点を重ねるが浦和実業がリードを保ち26対17で勝利を収めた。

戦評記入者

植村 崇紀